

ユークリートの耐薬品性

対象製品：ユークリート MF、UD200SR、MT、DP、RG

薬品	濃度 (%)	温度 (°C)	判定
無機酸類			
ホウ酸	飽和	20	○
クロム酸	10	20	○
	20	20	○
	30	20	○
塩酸	10	20	○
	10	60	○
	37	20	○
フッ化水素酸	4	20	○
	20	20	△
硝酸	5	20	○
	30	20	○
	65	20	△
リン酸	5	20	○
	40	85	○
	50	20	○
	85	20	○
硫酸	5	20	○
	30	60	○
	50	20	○
発煙硫酸	98	20	△
王水	-	20	△
臭化水素酸	48	20	○
有機酸類			
酢酸	10	20	○
	10	85	○
	25	20	○
	25	85	△
	40	20	○
氷酢酸	99	20	△
アクリル酸	100	20	○
アジピン酸	飽和	20	○
クエン酸	20	20	○
	60	20	○
	40	20	○
ギ酸	70	20	○
	90	20	△
	100	20	△
フマル酸	飽和	20	○
乳酸	5	20	○
	25	60	○
	85	20	○
	85	60	○
マレイン酸	30	20	○
リンゴ酸	50	20	○
メタクリル酸	100	20	○
オレイン酸	100	20	○
フェニルスルホン酸	10	20	○
チオグリコール酸	100	20	○
無水マレイン酸	100	20	○
無水酢酸	100	20	△
ラウリン酸	100	60	○
シュウ酸	5	20	○
ピクリン酸	10	20	○
50	20	○	
サリチル酸	飽和	20	○
ステアリン酸	100	80	○
トルエンスルホン酸	100	20	○
トリクロロ酢酸	100	20	△
安息香酸	100	20	○
クロロ酢酸	10	20	○
50	20	△	
100	20	○	
デカン酸	100	60	○
アセトアルデヒド	100	20	○
ホルマリン	40	20	○
没食子酸	100	20	○
酒石酸	飽和	20	○
グリコール酸	100	20	○
100	20	○	
100	60	○	
アルカリ類			
水酸化アンモニウム	28	20	○
20	20	○	
20	90	○	
苛性ソーダ	32	20	○
	50	20	○
	50	60	○
	50	90	△
水酸化カリウム	50	20	○
アミン類			
アニリン	100	20	○
モノメチルアミン	100	20	△
酢酸アミル	100	20	○
N-N-ジメチルアセトアミド	100	20	×

薬品	濃度 (%)	温度 (°C)	判定
塩類			
硫酸アルミニウム	50	20	○
硫酸アンモニウム	50	20	○
硝酸アンモニウム	50	20	○
硫酸銅	飽和	20	○
硝酸マグネシウム	50	20	○
重クロム酸カリ	飽和	20	○
次亜塩素酸ソーダ	15	20	○
塩化カルシウム	50	20	○
次亜塩素酸カルシウム	飽和	20	○
塩素酸ナトリウム	飽和	20	○
塩化ナトリウム	飽和	20	○
溶剤			
アセトン	100	20	△
ブチルアルコール	100	20	○
二硫化炭素	100	20	△
四塩化炭素	100	20	○
クロロホルム	100	20	△
シクロヘキサン	100	20	○
二塩化エタン	100	20	△
灯油	-	20	○
メチルアルコール	100	20	○
メタノール変性アルコール	-	20	○
塩化メチレン	100	20	△
メチルエチルケトン	100	20	△
メチルメタクリレート	100	20	○
モノクロロベンゼン	100	20	○
パークロロエチレン	100	20	○
石油	100	20	○
100	20	○	
スチレン	100	25	○
トルエン	100	20	○
トリクロロベンゼン	100	20	○
トリクロロエチレン	100	20	△
ホワイト・スピリット	-	20	○
キシレン	100	20	○
エチルアルコール	100	20	○
ガソリン	-	20	○
ベンゼン	100	20	△
酢酸エチル	100	20	△
二塩化エチレン	100	20	△
ヘキサン	100	20	○
イソプロピルアルコール	100	20	○
N-メチル-ピロリドン	100	20	×
テトラヒドロフラン	100	20	△
その他			
ビール	-	20	○
血液	-	20	○
カプロラクタム	100	20	○
ひまし油	100	20	○
5	20	△	
クレゾール	100	20	△
原油	-	20	○
100	20	○	
油脂	100	80	○
ホルマリン	40	20	○
グリセロール	100	20	○
20	20	○	
過酸化水素	30	20	○
牛乳	-	20	○
鉱油	-	20	○
フェノール	5	20	△
プロピレングリコール	100	20	○
砂糖水	30	60	○
尿素	20	20	○
エンジンオイル	-	20	○
タールオイル	-	20	○
植物油	-	80	○
蒸留水	-	85	○
天然オイル	-	20	○
-	-	20	○
洗剤 (酸性)	-	80	○
-	-	20	○
ジェット燃料	-	20	○
プレーキオイル	-	20	○
エチレングリコール	100	20	○
塩素水	飽和	20	○
ジエチレングリコール	100	20	○
エチルグリコールアセテート	100	20	○
パラフィン	-	20	○
Skydrol 500B4	-	20	○
Skydrol LD4	-	20	○
テレピン	-	20	○

試験条件：試験片をそれぞれの薬品に28日間浸漬させた後、重量と圧縮強度を測定する。
○：重量の増減が3%以内で目づ圧縮強度が浸漬前の70%以上の耐久性を有する。
△：時々薬品がこぼれてもすぐに洗い流すか、蒸発してしまう場合には耐久性を有する。
×：耐久性を有さない。